

ワルシヤワを沸かした
驚愕の才能を、いま!

2025年 第19回

ショパン国際ピアノ・コンクール第3位

最優秀ソナタ演奏賞 受賞

ズートン・ワン

ピアノ・リサイタル

2026 9.12^[土]

しらかわホール

14:00開演 / 13:30開場

世界の檜舞台に躍り出た天才
名古屋初リサイタル!

ショパンコンクールで話題の
超新星来日!!

© Krzysztof Szlezak / NIFC

Program

幻想即興曲&ダヴィッド同盟舞曲集

| | |
|------------|--------------------------------|
| ショパン | 夜想曲第3番 口長調 Op.9-3 |
| シューマン | ダヴィッド同盟舞曲集 Op.6 |
| ショパン | 即興曲第1番 変イ長調 Op.29 |
| ショパン | 即興曲第2番 嬰へ長調 Op.36 |
| ショパン | 即興曲第3番 変ト長調 Op.51 |
| ショパン | 即興曲第4番 嬰ハ短調 Op.66 《幻想即興曲》 |
| リスト(フゾーニ編) | モーツァルト「フィガロの結婚」の主題による幻想曲 S.697 |

※未就学児のご入場はできません。 ※曲目は予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。

Ticket

好評発売中 **全席指定** S席 6,000円 ※税込み

プレイガイド

チケットぴあ(Pコード:327-845)/しらかわホールteket(電子チケットのみ)
イープラス/ローソンチケット(Lコード:35099)

主催 オフィス山根、びあライブクリエイティブ
後援 日本ショパン協会
共催 しらかわホール(株式会社SKI)
協力 中京テレビクリエイション
株式会社河合楽器製作所
お問合せ しらかわホール contact@shirakawahall.jp



しらかわホールteket

2025年の秋、ショパン国際ピアノ・コンクールで第3位に入賞したことでズートン・ワンの名は一気に世界のピアノファンに知れ渡った。難関ブゾーニ国際ピアノ・コンクール(2023年、イタリア)で6位入賞を果たすなど徐々に頭角を現していたが、昨年のワルシャワでの並外れた演奏は多くのピアノ好きを唸らせ、それまでとは比較にならない数のファンを国際的に獲得した。副賞のひとつであるソナタ賞も受賞しているが、彼女が弾いた3次予選での《葬送》ソナタ、とりわけ終楽章の美しさは比類のないもので、これも納得の結果だったといえる。加えて“白いジャケット”を着て第1次予選からファイナルまで臨んだことも話題となった。爽やかでシャープ、そしてフレッシュ感に満ちた出で立ちは演奏ともども、聴衆に強烈な印象を残すこととなった。

今年1月に日本で開催されたショパン国際コンクール入賞者ガラ・コンサート・ツアーにおいてその才能を披露したが、今年9月の全国7公演のリサイタルを通じて、類いまれな技巧、美音、そして心に刺さる繊細な音楽を持つズートン・ワンの真価がより全国へと広まることに疑いはない。若きスターの誕生を心から祝いたい。



ズートン・ワン(ピアノ)

Zitong Wang, piano/王 紫桐(鋼琴)

ショパン国際コンクール第3位 & ソナタ賞受賞の超新星!!

©Wojciech Grzędziński / NIFC

真摯さ、華麗な技巧、そして繊細な感性で聴衆を魅了してきた。第19回ショパン国際ピアノ・コンクール(2025年)で第3位・銅メダルを獲得し、さらにソナタの最優秀演奏に贈られる「クリスティアン・ツィメルマン賞」も受賞したことでとりわけ大きな注目を集めた。

ベルリン・フィルハーモニー、ミュンヘン・プリンツレーгент劇場、ワルシャワ・フィルハーモニー、東京芸術劇場、ソウル・アーツ・センター、北京国家大劇院、グダニスクのポーランド・バルト・フィルハーモニーホール、上海シンフォニーホールなど、数々の著名ホールに出演し、いずれも熱烈な歓迎を受けた。

フィラテルフィア管弦楽団、クリーヴランド管弦楽団、ワルシャワ・フィルハーモニー管弦楽団、ガリシア交響楽団、四川交響楽団、杭州フィルハーモニー管弦楽団のほか、ニュージャージー交響楽団、NECフィルハーモニア(ボストン)、ポーランド・バルト・フィルハーモニック、ポーランド放送アマテウス室内管弦楽団などと共演してきた。ヤックヤ・リン、ジャン・ジャン、アントニ・ヴィト、アンドレイ・ボレイコ、アントニー・ヘルムス、リナ・ゴンザレス＝グラナダス、ヒュー・ウルフ、ダニエル・スミス、ダレル・アン、ヤン・ヤンらといった指揮者たちと共演している。

室内楽奏者としても活発に活動しており、デイヴィッド・シフリン、ロベルト・ディアス、スーヴィン・キム、グロリア・チエンといった著名音楽家やイジドル弦楽四重奏団、カーティス・アンサンブル20/21などのアンサンブルと共演している。アメリカ・オレゴン州ポートランドで開催される「チェンバー・ミュージック・ノースウェスト」ではプロテ

ジェ・プロジェクトのアーティストに選ばれ、広く高い評価を受けた。また現代音楽にも積極的に取り組み、チン・ウンスク、ブライト・シェン、デイヴィッド・ラドウィグ、アルヴィン・シングルトンといった作曲家と仕事を共にしている。

ピアノ教育者の家庭に生まれ、現在はボストンのニューイングランド音楽院大学院でダン・タイ・ソンに師事している。幼少期には中央音楽学院でファ・チャン、およびユアン・シェンに学んだ。その後、全額奨学金を得てカーティス音楽院に入学しマンチェ・リウおよび故エレノア・ソコロフの指導を受けた。レオン・シェルハーゼのもとでチェンバロの歴史的演奏法を副専攻として学び、さらにペンシルベニア大学では哲学も履修している。これらがきっかけとなり、トレヴァー・ピノックの招きで、カレン・フリント・コレクション所有の歴史的なチェンバロで演奏する機会も得た。

第64回フェルッチョ・ブゾーニ国際ピアノ・コンクール(2023年)では第6位および現代作品演奏特別賞を受賞。さらに第33回フェロール国際ピアノ・コンクール(2022年)で優勝およびショパン作品の最優秀演奏者に贈られる「ネルソン・フレイレ賞」を受賞している。

ドイツ・グラモフォンのStage +、Medici TV、Amadeus TV、WRTI、WHYY TV、All Classical Radioなどのラジオ、ストリーミングサービスにも出演している。第19回ショパン国際ピアノ・コンクールでの演奏は、ショパン研究所によるコンクール録音シリーズ“ブルー・シリーズ”の一環として2026年にアルバムがリリースされた。



【使用楽器】

カワイSK-EX(Shigeru Kawai)

本ツアー全公演にて、ズートン・ワンがショパン国際コンクールの際に選んだ、日本を代表するピアノメーカー、カワイのコンサート・グランドピアノSK-EXが演奏されます。

全国ツアー日程

9/6(日) 米子市文化ホール(米子)

9/10(木) 札幌コンサートホールKitara(札幌)

9/12(土) しらかわホール(名古屋)

9/14(月) 東京オペラシティ(東京)

9/16(水) アトリオン音楽ホール(秋田)

9/18(金) アクロス福岡(福岡)

9/20(日) 高崎芸術劇場(高崎)



ツアー特設ページ